

<b>3類型</b>	鋳工業品又は鋳工業品の生産に係わる技術	<b>通巻番号</b>	1 - 20 - 006
<b>地域資源名</b>	ライムケーキ	<b>認定日</b>	平成20年7月4日
<b>地域</b>	北海道帯広市	<b>所管省庁</b>	農林水産省 経済産業省

## 事業名:「乾燥ライムケーキ」「乾燥ライムケーキと木炭との混合資材」による 土壌改良材開発事業

会社名:ニチゴ産業株式会社  
連絡先:TEL:0155-23-0275  
FAX:0155-23-0276

所在地:北海道帯広市西3条南4丁目4番地1  
H P : <http://www15.ocn.ne.jp/~a275/>

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・甜菜(砂糖大根)は、寒冷地に適した道内の基幹作物であり、砂糖を製造する過程で発生するライムケーキは、有機質を多く含むことから循環資源としての利用が期待されている。しかし、水分含有量が高いこと等から、約半分が埋め立て処理され、有効利用されていなかった。
- ・本事業では、「乾燥ライムケーキ」と「乾燥ライムケーキと木炭との混合資材」による、軽量で長期間保存可能で、融雪剤等の用途にも広く活用可能な土壌改良材を開発する。



【会社外観】

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### 競争力

- ・十勝支庁管内には、国内3大製糖会社の工場が集まっており、原料のライムケーキは、産業廃棄物の有効利用であり、輸送コストも低く、商品価格を低く抑えることができる。
- ・本事業で開発する商品は、農地の長期間の利用等による酸性化した土壌を中和し、有用な微生物が生息しやすい環境を実現できることに加え融雪効果も高い。

#### 市場性

- ・近年、燃料や農業用資材の価格高騰により、道内農業経営者からのコスト圧縮要求が高まっており、低価格土壌改良材のニーズは高い。
- ・十勝管内の農業経営者を対象にしたヒアリング調査では、新商品で換算すると約187万トンの潜在市場が存在する。

#### 販路

- ・当初は、主に十勝支庁管内の農業関係者を対象として販売していくが、3年目以降は、販路を域外及び森林組合やホームセンター等の農業関係者以外にも拡大していく。



【ライムケーキと木炭の混合資材】

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・商品の開発・改良は、帯広畜産大学と共同で行い、農作物への効果の測定については、地元各農協、窯の開発・改良・稼働実験等に関しては、地元の鉄工所・建設会社と連携して行う。



【ライムケーキ乾燥実験】